

＜一時滞在場所の設置運営＞

- ・避難受入自治体において一時滞在場所を設置（札幌市、留寿都村、洞爺湖町、赤井川村、登別市）
- ・道職員（振興局）による一時滞在場所の運営支援（札幌市、登別市）

＜道路渋滞対策＞

- ・渋滞予測箇所における迂回路誘導（共和町、倶知安町）
- ・道路情報板を活用した交通広報（共和町、赤井川村）

＜集合場所でのレイアウト図の掲示＞



北電体育館

＜バスを利用した避難＞



北電体育館

＜小学校における避難＞



北辰小学校

＜要配慮者の屋内退避・避難＞



泊村養護老人ホームむつみ荘

＜大雨による避難所での屋内退避＞



ニセコ駅前温泉綺羅乃湯

＜道路渋滞対策＞



国富交差点（共和町）

＜避難経路確保のための道路啓開＞



共和町北電臨時ヘリポート

＜観光客に対する情報伝達と避難誘導＞



ニセコアンヌプリ温泉湯心亭（ニセコ町）

＜一時滞在場所の設置・運営＞



登別市総合体育館

＜孤立集落からの住民避難支援の多重化＞



自衛隊装甲車による陸路避難



自衛隊ヘリによる空路避難



海上保安本部巡視艇による海路避難

## キ 原子力災害医療活動訓練

関係医療機関等と連携して原子力災害時における医療活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 関 係 医 療 機 関 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 安定ヨウ素剤の緊急配布 <input type="checkbox"/> 避難退域時検査場所を開設し、避難車両や避難住民の検査、簡易除染（ルスツリゾート、キコロリゾート） <input type="checkbox"/> 医療機関への患者搬送（発電所内被ばく傷病者）と受入施設での医療措置

※ 避難退域時検査実施結果：車両20台、住民54人（うち簡易除染実施：車両5台、住民8人）

＜避難車両の検査（ゲート型モニタ）＞



キコロリゾート

＜避難車両の検査（サーバイメータ）＞



ルスツリゾート

＜避難車両の除染＞



ルスツリゾート

＜避難住民の検査＞



ルスツリゾート



ルスツリゾート

＜安定ヨウ素剤の戸別配布＞



共和町柏木地区

＜安定ヨウ素剤の配布＞



ルスツリゾート

＜原子力災害拠点病院への搬送・医療処置＞



札幌医科大学附属病院



札幌医科大学附属病院



## ク 物資緊急輸送訓練

一時移転指示区域で屋内退避を継続している住民を支援するため、必要な飲食物等の生活必需物資の緊急輸送を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 物資の緊急輸送 <input type="checkbox"/> 輸送を担う民間事業者の防護対策

＜トラック協会による物資輸送＞    ＜車両中継ポイントでの説明・資機材配布＞    ＜原子力事業者による物資輸送＞



赤井川村 グループホームあまらんす



赤井川村山村活性化支援センター



共和町保健福祉センター

## カ その他

＜緊急安全対策訓練＞

泊発電所内で、福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急安全対策訓練として放水砲による格納容器への放水訓練等を実施した。

＜住民研修会等＞

原子力防災に係る知識の普及啓発を図るため、避難バスの車内において原子力防災クイズの実施や避難先施設等において原子力防災に関する住民研修会を実施した。

＜放水砲による放水訓練＞



北海道電力株式会社泊発電所

＜共和町の住民説明会＞



ルスツリゾート


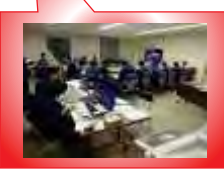

訓練の流れ

		【訓練実施時間】														
		前日	4:00	5:00	5:00	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
主要な事態の推移	気象状況 (後志地方)		後志地方に台風が接近													
	大雨・暴風警報															
原子力災害	警戒事態															
	原子炉冷却材の漏れ															
国からの要請／指示	原子力規制委員会・内閣府原子力防災【仮設】															
	道の体制															
現地の体制	OFC															
	現地の体制															
住民避難の動き	PAZ															
	UPZ															
自然災害による主な道路状況																

※表井町・二七二町・偵知安町・仁木町・赤井川村

# 10 訓練イベント時刻

<意思決定訓練>

場所	官邸・ERC (本訓練では内閣府)	OFC (北海道原子力防災センター)	道災対本部 (道庁)	町村災対本部 (13町村)
実施内容等	○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議)	○現地事故対策連絡会議 ○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議) ○各機能班活動	○災害対策本部員会議 ○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議) ○指揮室運営 (9:00~15:30)	○災害対策本部員会議 ○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議) 等
9:00			9:00~9:15 道災害対策本部員会議 知事	9:00~9:15 町村災害対策本部員会議
9:30	10:05 緊急事態宣言	9:30~9:45 現地事故対策連絡会議 副知事 副町長ほか		
10:00	内閣府 (TV会議)	副知事 副町長ほか	10:10~10:20 第1回原子力災害合同対策協議会全体会議 知事 (TV会議)	13町村長 (TV会議)
10:30			10:20~10:30 道災害対策本部員会議 知事	10:20~10:30 町村災害対策本部員会議
11:00		11:00~11:15 第2回原子力災害 合同対策協議会全体会議 副知事 副町長ほか		
11:30	24時間経過を想定			
12:00		副知事 副町長ほか	11:35~11:50 第3回原子力災害合同対策協議会全体会議 知事 (TV会議)	13町村長 (TV会議)
12:00			11:50~12:00 知事	11:50~12:00
13:30				
15:00		15:00~15:20 第4回原子力災害 合同対策協議会全体会議 副知事 副町長ほか		
15:30	訓練終了			

<実動訓練>

実施内容等	実動訓練					
9:00	共和町 北電臨時ヘリポート:9:00頃	共和町柏木地区 住民配布:9:10頃				
9:30	道路啓開	安定ヨウ素剤緊急戸別配布	ホテルニセコアルペン ニセコアンヌプリ温泉湯心亭 9:30~9:50頃			小樽市上空 測定:9:00頃~
10:00	PAZ要配慮者避難 泊小学校、泊中学校、 むつみ荘:バス出発:9:30頃	PAZ要配慮者避難 北辰小学校 バス出発:9:20頃 北電体育館 バス出発:9:50頃	外国人観光客等 避難誘導	道路渋滞対策	道路情報板による交通広報	航空機モニタリング
10:30	泊村養護老人ホーム、 むつみ荘 施設到着:10:15頃 要配慮者屋内退避	PAZ要配慮者避難	共和町 保健福祉センター 施設到着:10:20頃 要配慮者屋内退避	共和町国富交差点 交通誘導:9:30頃	共和町国富交差点 表示:9:30頃	共和町国富交差点 表示:10:40頃
11:00	PAZ住民避難 洪井地区集会所 泊公民館 バス出発:10:30頃	北電体育館 バス出発:10:50頃 PAZ住民避難				ヘリテレ映像伝送
11:30	傷病者搬送 	イオン余市店 バス到着:11:30頃 休憩施設設置	老古美術館:12:00頃 ルスツリゾート:13:00頃 文化福祉センター:11:30頃 仁木町民センター:12:00頃 銀山生活改善センター:12:00頃 健康支援センター:12:00頃	倶知安町市街地 迂回路誘導:11:40頃	オフサイトセンター他 モニカー:11:30頃 可搬モノポ:13:00頃 緊急時モニタリング	自然災害による避難所 での屋内退避 ニセコ駅前温泉綺羅乃湯 避難所での避難:11:00頃 バス出発:12:00頃
12:00	岩内協会病院 傷病者受入:10:10頃 岩内町新港東ふ頭 札幌医科大学附属病院 傷病者受入:13:30頃	バス中継ポイント 赤井川村山村 活性化支援センター バス中継:11:30頃	安定ヨウ素剤緊急配布	道路渋滞対策	道路情報板による交通広報	避難退域時検査
12:30	赤井川村山村 活性化支援センター トラック中継:12:45頃 トラック中継ポイント		UPZ住民一時移転 共和町:11:50頃 ニセコ町:12:00頃 倶知安町:12:00頃 仁木町:12:10頃 赤井川村:12:50頃	避難退域時検査 	グループホームあまらんす 共和町保健福祉センター 物資受取:13:30頃	
13:00				キロロリゾート 12:00~14:30頃	物資緊急輸送	
13:30	孤立集落避難(巡視艇) 余市港 巡視艇出発:13:45頃 小樽港 巡視艇到着:14:45頃	孤立集落避難(装甲車) 銀山学園 装甲車出発:13:30頃 キロロリゾート 装甲車到着:14:10頃		キロロリゾート、 倶知安町市街地、 ルスツリゾート 表示:13:50頃	緊急安全対策訓練	ルスツリゾート 12:00~14:30頃
14:00			孤立集落避難(ヘリ) 銀山中学校 ヘリ離陸:13:55頃 キロロリゾート ヘリ着陸:14:05頃	ヘリテレ映像伝送	泊発電所:13:10頃	
15:00	訓練終了					

11 住民避難訓練整理表

避難元町村	輸送手段等	避難退域時検査	一時滞在所	避難先
<p>泊村 (PAZ)</p> <p>↓</p> <p>むつみ荘</p> <p>在宅要配慮者の放射線防護対策施設への屋内退避(1名)、支援者(1名)</p>	<p>&lt;住民&gt; 24人 借バス中型2台、自家用車6台</p> <p>&lt;学校等&gt; 131人 村バス3台、借バス大型2台</p> <p>&lt;社会福祉施設&gt;むつみ荘12人 借バス小型1台、福祉車両2台</p>		南区体育館 (札幌市南区)	<p>アパホテル (札幌市南区)</p> <p>黒松内つくし園 (黒松内町)</p>
<p>共和町 (PAZ)</p> <p>↓</p> <p>保健福祉センター</p> <p>在宅要配慮者の放射線防護対策施設への屋内退避(1名)</p>	<p>&lt;在宅要配慮者&gt; 10人 町バス1台</p> <p>&lt;住民&gt; 20人 大型バス1台</p> <p>&lt;学校等&gt; 83人 借バス大型3台</p>		ルスツリゾート (留寿都村)	
共和町 (UPZ)	<住民> 11人 借バス大型1台	ルスツリゾート (留寿都村)	洞爺湖文化センター (洞爺湖町)	壮瞥町内ホテル【想定】
ニセコ町	<p>&lt;住民&gt; 27人 借バス大型1台</p> <p>&lt;外国人観光客等&gt; 湯心亭 21人 借バス大型1台、自家用車1台</p>	ルスツリゾート (留寿都村)	札幌市白石区体育館 (札幌市白石区)	<p>札幌市内ホテル【想定】</p> <p>UPZ外</p>
倶知安町	<p>&lt;住民&gt; 56人 借バス大型2台、中型バス1台</p> <p>&lt;外国人観光客等&gt; アルペン 34人 借バス大型1台、自家用車1台</p>	ルスツリゾート (留寿都村)	登別市総合体育館 (登別市)	<p>登別市内ホテル【想定】</p> <p>UPZ外</p>
仁木町	<p>&lt;住民&gt; 30人 &lt;要配慮者施設&gt;23人 借バス大型2台 ※借バス大型1台(帰町用) ※福祉車両2台(帰町用)</p> <p>&lt;銀山地区孤立住民&gt; 15人 自衛隊装甲車2台、ヘリ1台 ※借バス小型1台(帰町用)</p> <p>&lt;要配慮者施設&gt; 2人 福祉車両1台</p> <p>&lt;海路避難住民&gt; 4人 海保船舶1隻(余市港→小樽港) 借バス小型1台</p>	<p>キロリゾート (赤井川村)</p> <p>中央水産試験場 (余市町)</p>	<p>札幌市手稲区体育館 (札幌市手稲区)</p> <p>札幌市手稲区体育館 (札幌市手稲区)</p>	<p>札幌市内ホテル【想定】</p> <p>避難先施設 (北広島市)他</p> <p>札幌市内ホテル【想定】</p>
赤井川村	<p>&lt;住民&gt; 23人 借バス大型1台</p> <p>&lt;学校等&gt; 89人 村所有バス 1台 借バス大型 2台</p>		キロリゾート (赤井川村)	

※泊村、岩内町、寿都町、余市町では、訓練想定とは別に独自に住民避難訓練を実施。



## 12 訓練実施場所図



©2018ZENRIN CO., LTD. (Z18LD第1959号)

- |  |  |
|--|--|
| <p>①オフサイトセンター (共和町南幌似 141-1)</p> <p>②北海道庁 (札幌市中央区北 3 条西 6 丁目)</p> <p>③倶知安町瑞穂ポスト (倶知安町字瑞穂 350-13)</p> <p>④泊村泊小学校他 (泊村 134)</p> <p>⑤泊村泊公民館他 (泊村大字茅沼村 172-7)</p> <p>⑥泊村養護老人ホームむつみ荘 (泊村大字茅沼村 711-3)</p> <p>⑦共和町北辰小学校 (共和町宮足 2900)</p> <p>⑧共和町ほくでん体育館 (共和町宮丘 184-34)</p> <p>⑨共和町保健福祉センター (共和町南幌似 57-12)</p> <p>⑩共和町老古美会館 (共和町老古美)</p> <p>⑪二セコ町二セコ駅前温泉綺羅乃湯 (二セコ町中央通 33)</p> <p>⑫倶知安町文化福祉センター (倶知安町南 3 条東 4-2-2)</p> <p>⑬仁木町銀山生活改善センター他 (仁木町銀山 2-470)</p> <p>⑭仁木町銀山学園 (仁木町銀山 2-134)</p> <p>⑮仁木町銀山中学校 (仁木町銀山 2-113)</p> <p>⑯余市町余市防備隊専用港 (余市町港町)</p> <p>⑰赤井川村健康支援センター他 (赤井川村赤井川 318-1)</p> <p>⑱余市町イオン余市店 (余市町黒川町 12-62-1)</p> <p>⑲倶知安町ホテルセパルパ (倶知安町字山田 204)</p> <p>⑳二セコ町セパルパ温泉湯心亭 (二セコ町字二セコ 438)</p> <p>㉑共和町北電臨時ヘリポート (共和町宮丘 211-1)</p> <p>㉒共和町国富交差点 (共和町国富)</p> <p>㉓倶知安町国道 276 号周辺 (倶知安町北 4 条付近)</p> <p>㉔赤井川村道の駅付近 (赤井川村都)</p> <p>㉕赤井川村山村活性化支援センター (赤井川村常盤 443-1)</p> <p>㉖共和町柏木地区 (共和町宮丘 9)</p> <p>㉗留寿都村ルスツリゾート (留寿都村字泉川 13)</p> <p>㉘赤井川村キロロリゾート (赤井川村常盤 128-1)</p> <p>㉙岩内町岩内協会病院 (岩内町高台 209-2)</p> <p>㉚岩内町新港東ふ頭 (岩内町大浜)</p> <p>㉛札幌医科大学附属病院 (札幌市中央区南 1 条西 16 丁目)</p> <p>㉜赤井川村グループホームあまらんす (赤井川村赤井川 409-1)</p> <p>㉝泊村北海道電力 (株) 泊発電所 (泊村大字堀株村)</p> | <p>緊急事態応急対策等拠点施設運営訓練</p> <p>災害対策本部等設置運営訓練</p> <p>緊急時モニタリング実動訓練</p> <p>PAZ 要配慮者避難訓練</p> <p>PAZ 住民避難訓練</p> <p>PAZ 要配慮者避難訓練・屋内退避訓練</p> <p>PAZ 要配慮者避難訓練</p> <p>PAZ 要配慮者避難訓練・PAZ 住民避難訓練</p> <p>PAZ 要配慮者屋内退避訓練</p> <p>物資緊急輸送訓練②</p> <p>UPZ 住民一時移転訓練・安定ヨウ素剤配布訓練</p> <p>自然災害による避難所での屋内退避訓練</p> <p>UPZ 住民一時移転訓練</p> <p>UPZ 住民一時移転訓練・安定ヨウ素剤配布訓練</p> <p>UPZ 住民一時移転訓練・安定ヨウ素剤配布訓練</p> <p>孤立住民陸路 (装甲車) 避難訓練</p> <p>孤立住民空路 (ヘリ) 避難訓練</p> <p>孤立住民海路 (巡視艇) 避難訓練</p> <p>UPZ 住民一時移転訓練・安定ヨウ素剤配布訓練</p> <p>避難経路上休憩施設開設訓練</p> <p>外国人観光客等避難誘導訓練①</p> <p>外国人観光客等避難誘導訓練②</p> <p>道路啓開訓練</p> <p>道路渋滞対策・交通広報訓練</p> <p>道路渋滞対策訓練</p> <p>交通広報訓練</p> <p>車両中継ポイント運営訓練</p> <p>安定ヨウ素剤緊急戸別配布訓練</p> <p>避難区域時検査訓練・安定ヨウ素剤配布訓練</p> <p>避難区域時検査訓練</p> <p>知事ぶら下がり会見</p> <p>被ばく傷病者受入訓練</p> <p>被ばく傷病者搬送訓練</p> <p>被ばく傷病者受入訓練</p> <p>物資緊急輸送訓練①</p> <p>緊急安全対策訓練</p> |
|--|--|



### 13 事前準備・結果報告等（冬季要素訓練を含む）

#### (1) 会議等

地元自治体や防災関係機関、道内各都庁との会議等を開催し、訓練計画・項目・内容などについて、協議・調整を行うとともに、実施結果について報告を行った。

開催年月日	会議名等
平成 30 年 4 月 26 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）
平成 30 年 4 月 27 日	原子力防災事務担当者会議（後志管内 13 町村等）
平成 30 年 5 月 16 日	北海道防災会議常任幹事会
平成 30 年 5 月 31 日	北海道防災会議
平成 30 年 6 月 8 日	原子力防災訓練事務担当者会議
平成 30 年 6 月 8 日	泊地域原子力防災協議会作業部会（国、後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 30 年 6 月 15 日	原子力防災に関する連絡会議（石狩・後志・胆振・渡島管内関係市町村）
平成 30 年 7 月 13 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 30 年 7 月 25 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）
平成 30 年 8 月 23 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 30 年 8 月 23 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）
平成 30 年 8 月 24 日	北海道防災会議常任幹事会
平成 30 年 9 月 18 日	北海道防災会議常任幹事会
平成 30 年 9 月 28 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 30 年 9 月 28 日	泊地域原子力防災協議会作業部会（国、後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 30 年 10 月 1 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）
平成 30 年 10 月 16 日	原子力防災訓練会議（内閣府等）※TV 会議
平成 30 年 11 月 19 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関）
平成 30 年 11 月 20 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）
平成 30 年 12 月 18 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 30 年 12 月 18 日	泊地域原子力防災協議会作業部会（国、後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 30 年 12 月 18 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）
平成 30 年 12 月 25 日	北海道防災会議常任幹事会
平成 31 年 1 月 22 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 31 年 1 月 22 日	泊地域原子力防災協議会作業部会（国、後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 31 年 1 月 22 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）
平成 31 年 1 月 28 日	原子力防災に関する連絡会議（石狩・後志・胆振・渡島管内関係市町村）
平成 31 年 1 月 31 日	原子力防災訓練会議（内閣府等）※TV 会議
平成 31 年 3 月 18 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関）
平成 31 年 3 月 18 日	泊地域原子力防災協議会作業部会（国、後志管内 13 町村、防災関係機関）※TV 会議
平成 31 年 3 月 18 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内各都庁等）

## (2) 北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員会

北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員から訓練内容について専門的見地からの意見を伺うとともに、実施結果について専門委員（学識経験者）に対する報告を行った。

- ・平成 30 年 8 月 16 日 専門委員（学識経験者）との意見交換
- ・平成 30 年 10 月 22 日 専門委員（学識経験者）による訓練視察
- ・平成 31 年 2 月 4 日 専門委員（学識経験者）による訓練視察
- ・平成 31 年 3 月 26 日 有識者専門委員会

## (3) 住民等への周知

訓練の実施について、道及び関係 13 町村のホームページや広報誌に掲載するとともに、「原子力防災だより」を関係 13 町村全戸や各町村内の主要施設に配布するなど、住民への周知を行った。

また、原発が所在している他県や道内関係市町村に対し、周知を行った。

## (4) その他

- ・平成 30 年 10 月 9 日 北海道議会総務委員会へ訓練実施について報告
- ・平成 30 年 10 月 15 日 報道機関へ訓練の実施について事前レクチャー
- ・平成 30 年 10 月 22 日 北海道議会総務委員会による訓練視察
- ・平成 30 年 10 月 22 日 報道機関へ訓練の実施結果について事後レクチャー
- ・平成 30 年 11 月 6 日 北海道議会総務委員会へ訓練実施結果について報告

## 第2 冬季要素訓練

### 1 目的

平成30年10月に実動訓練と意思決定訓練を連動させた原子力防災訓練を実施したところであるが、初動対応の確認や様々な事態に即応できる対応能力の向上を図るため、冬季要素訓練として、地震発生から全面緊急事態に至る場面まで、意思決定訓練（オフサイトセンター運営訓練、災害対策本部運営訓練）をブラインド方式で実施する。

### 2 実施日時

平成31年2月4日（月）8：30～16：00

### 3 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

### 4 場所 [実動訓練場所]

北海道原子力防災センター（共和町）、北海道危機管理センター（札幌市）ほか

### 5 対象施設

北海道電力株式会社 泊発電所（3号機）

### 6 参加・協力機関

防災関係機関等 75機関（防災業務関係者 483人）

北海道警察、岩内・寿都地方消防組合、北後志消防組合、羊蹄山ろく消防組合、原子力規制委員会原子力規制庁、泊原子力規制事務所、内閣府、北海道総合通信局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、環境省北海道地方環境事務所、陸上自衛隊北部方面隊、（公社）北海道トラック協会、（一社）北海道バス協会、小樽建設協会、北海道電力（株）（ほか）

### 7 訓練想定

泊村において震度6弱の直下型地震が発生し、稼働中の北海道電力株式会社泊発電所3号機は自動停止する。その後、何らかの設備故障により原子炉冷却材が漏えいが発生するなど事態が進展し、全面緊急事態まで至る（その後収束し、放射性物質の放出はなし）。

※ 訓練当日における気象状況は、訓練当日の実際の気象状況とした（訓練当日は暴風雪）。

### 8 訓練内容

#### （1）オフサイトセンター運営訓練

オフサイトセンターに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員が参集し、体制を構築して、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら、必要な情報共有と複合災害における防護措置の実施方針の調整・確認を行った。

※ オフサイトセンターにおける会議の設定時間、会議の発話の内容、会議資料の作成を含め、ブラインド方式により実施した。